

平成19年1月1日～平成26年12月31日の間に川崎医科大学附属病院  
で肺癌と診断され、手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名:肺腺癌における同一腫瘍細胞内でのCox-2・PD-L1の発現形態と、Cox-2  
阻害薬によるPD-L1発現調節

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、平成19年1月1日～平成26年12月31日の間に、当院において肺癌と診断され手術を受けられた患者さんについて、「腫瘍細胞表面のCox-2とPD-L1というタンパク質」との間に関連があるかどうかを検討するための後方視的調査研究を実施します。昨年度、新しい抗がん剤として免疫チェックポイント阻害薬が認可されましたが、現時点では腫瘍細胞のprogrammed cell-death ligand 1 (PD-L1)が効果を予測できるとされています。

研究期間は、倫理委員会承認日～平成30年6月30日の予定です。

本研究の目的は、今後肺癌と診断された患者さんに対して、免疫チェックポイント阻害薬の治療法に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は手術で摘出した組織を用いて「免疫染色」によって評価する観察研究であり、患者さんの個人情報（標本番号と病理所見）を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は教員研究費を用いて行う研究であり、この研究を実施する関係者には小野薬品工業株式会社、CSL ベーリング（株）、協和発酵キリン（株）、大鵬薬品工業（株）より奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係のない企業です。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいませようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：所属 呼吸器外科学 職名 准教授 氏名 清水克彦

TEL：086-462-1111（内線25519）

FAX：086-464-1124

E-mail：：gts@med.kawasaki-m.ac.jp